

中古文学会 2023 年度春季大会 開催案内

【重要】 会員のみなさまへ

2023 年度中古文学会春季大会の開催形態につきまして、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、常任委員会において協議した結果、下記のようにすることと致しましたので、お知らせ申し上げます。ご了承のうえ、ご参加いただきたくお願い申し上げます。

記

- (1) 春季大会は、全プログラムを対面にて開催することとしますが、参加には事前申込が必要です。
- (2) 現地参加が困難な状況も勘案し、シンポジウム・研究発表等については録画し、大会日程終了後、会員のうち事前申込をされた方に限って視聴できるようにします（事務局が固定カメラによって録画するため、画質・音質等の保証はできません。また、研究発表については録音のみの場合もあります）。視聴後に質問等を行うことはできません。現地参加された方が録画視聴をすることもできます。
- (3) 会員外の方の参加についても事前申込をされた方に限って現地参加できることとします（ただし、懇親会への参加、昼食の申込、録画視聴はできません）。参加費（1,000 円 [両日参加可能]）は当日会場受付にて現金でお支払いください（釣銭が必要ないようご配慮ください）。
- (4) 1 日目に懇親会を開催します（感染症拡大対策のため、第一部（お弁当による食事）と第二部（飲料提供を伴った懇談）の二部制を予定）。参加を希望される方は、同封の振込票によって事前申込を行ってください。懇親会費は、4,000 円です。懇親会の形態については今後の状況によって変更となる場合があります。また、振り込まれた懇親会費は、懇親会が中止となった場合以外は返金できませんのでご了承ください。
- (5) 2 日目の昼食（お弁当）の販売を行います。希望される場合は、同封の振込票によって事前申込を行ってください。昼食代は、1,000 円です。休憩室での飲料等の提供は行いませんので、各自でご用意ください。
- (6) 現地参加、録画視聴のいずれの場合も、同封の振込票によって事前申込を行ってください。どちらも大会参加費（資料集代を含む）は 1,000 円です。「資料集」の PDF による配布は行いません。
- (7) 事前申込をされた方には、現地参加、録画視聴にかかわらず、大会の前（5 月中旬を予定）に「資料集」と「録画視聴の案内」を郵送しますので、現地参加の方は「資料集」を会場に持参していただき、録画視聴の方は、大会日程終了後に「録画視聴の案内」にしたがって視聴してください。
- (8) 委員等選挙については、オンライン投票にて実施します。詳しくは別紙「2023 年度中古文学会委員等選挙に係る実施方法について」をご参照ください。
- (9) 今後の感染拡大状況によっては、大会の全プログラムを遠隔開催とすることもあります。開催形態を変更する場合は、5 月上旬までに学会公式サイトに掲載します。

そのほか、最新情報は学会公式サイトを通じてお知らせします。本件に係る事務局・会場校への個別の問い合わせは、お控えくださるようお願い申し上げます。中古文学会事務局

大会日程・大会会場

大会日程	5月20日(土) 13:00～ (受付) 12:30 開始 シンポジウム、懇親会
	5月21日(日) 09:30～ (受付) 09:10 開始 研究発表会(午前)、委員会、研究発表会(午後)、総会
大会会場	國學院大學渋谷キャンパス 百周年記念講堂 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 國學院大學百周年記念館4F
懇親会会場	國學院大學渋谷キャンパス 有栖川宮記念ホール 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 國學院大學若木タワー18F

大会参加要領

1. 大会参加費
 - ・参加費(資料集代を含む)：現地参加、録画視聴いずれも1,000円
 - ・懇親会：4,000円
 - ・昼食代(2日目)：1,000円
 - ※入金済み参加費の自己都合による返金、または他の参加者への付け替えなどには応じられません。
 - ※領収書は、振込受領証に替えることとし、別途発行することはありません。
2. 申込方法
 - ・同封の振込票による入金をもって申込を承ります。必要事項をご記入のうえ、上記の額をご入金ください。
 - ・加入者名 中古文学会大会実行委員会
 - ・口座番号 00240-3-99727
 - ※締切後の入金は固くお断りいたします。
3. 会員外の方の申込方法
 - ・学会公式サイトより申込締切までに申し込んでください。
 - ・申込時にご記入いただいた個人情報は本大会の運営管理にのみ使用させていただきます。
 - ・参加費(1,000円)は当日会場受付にて現金でお支払いください(釣銭が必要ないようご配慮ください)。
4. 申込締切 2023年4月21日(金) ※締切後の申込は承ることはできません。
5. 住所・所属等の変更
 - ・住所・所属等の変更は、学会公式サイト「会員ページ」をご利用ください。同封の振込票に記載されても、変更は承ることができません。
6. 学会費の納入
 - ・同封の振込票は【大会参加費専用】です。学会費は納入できません。また、大会会場での学会費納入は受け付けません。
7. 出張依頼状
 - ・氏名・職名・提出先(所属長名)を明記のうえ、ポータルデスクへメールでお申し込みください。
8. 会場について
 - ・キャンパス内は禁煙です。
9. 宿泊について
 - ・各自で早めにご予約ください。

10. 交流広場
(フリースペース)
- 以下の要領で交流広場を開設します。研究者相互の交流・情報交換の場としてご活用ください。
用途：博士論文要旨・論文抜刷・研究プロジェクト報告書等の展示や配布、研究会・学会等の紹介、会誌等の展示や配布・販売など。
資格：本学会員に限る。団体の場合は、本学会員が代表者であること。
申込：氏名（団体の場合は団体名および代表者名）・連絡先の住所・電話番号・メールアドレス・展示物等の内容について、4月21日（金）までに中古文学会大会実行委員会へメールでお申し込みください。
注意：スペースに限りがあるため、申込先着順で受け付けます。
広場には、机と椅子を用意します。それ以外の対応はしません。
当日は、受付で利用手続きをしてください。
交流広場は大会開催中開場します。利用時間は任意です。出品物の持ち込みは各自で行い、終了後はすべて持ち帰ってください。
11. 臨時託児室
- 本大会では臨時託児室は開設しません。
12. 問い合わせ先
- 大会全般に関すること
中古文学会事務局
〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28
國學院大學若木タワー1012（竹内正彦）研究室内
E-mail：info@chukobungakukai.org
 - 参加申込、参加費納入、出張依頼状に関すること
中古文学会ポータルデスク
〒111-0041 東京都台東区元浅草 2-10-11 吉延ビル 4F 株式会社新典社内
E-mail：info@chukobungakukai.org
 - 会場、交流広場に関すること
中古文学会大会実行委員会
〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28
國學院大學若木タワー1012（竹内正彦）研究室内
E-mail：mtakeuchi@kokugakuin.ac.jp
- *問い合わせにはできるかぎりメールをご利用ください。

大会プログラム

会場 國學院大學渋谷キャンパス

【シンポジウム・研究発表会・総会会場】 百周年記念館 4F 百周年記念講堂

【休憩室】 5号館 2F 5202 教室

【懇親会】 若木タワー18F 有栖川宮記念ホール

【委員会】 5号館 2F 5203 教室

【書籍販売】 5号館 3F 5302 教室

第1日 5月20日(土)

12:30	受付開始	
13:00-	開会の辞	國學院大學学長 針本正行
13:10-	シンポジウム「中古和歌文学研究の現在」	
17:00	趣意説明	千葉大学 鈴木宏子
	〔基調報告①〕 三代集から後拾遺集へ—贈答歌詞書中の人名に着目して—	相模女子大学 武田早苗
	〔基調報告②〕 曾禰好忠歌の表現	四国大学 田中智子
	〔基調報告③〕 後撰集時代の和歌表現—ミ語法への注目—	日本大学 西山秀人
	……休憩 (14:40-15:20) ……	
	パネリスト討議 フロアとの質疑応答	〈司会〉 千葉大学 鈴木宏子
17:30-	懇親会	
19:30		

第2日 5月21日(日)

09:10-	受付開始
09:30-11:30	研究発表会(午前) 〔研究発表①〕 『うつほ物語』における「ことなし」「こともなし」 湘北短期大学〔非〕 泉屋咲月 〔研究発表②〕 陽明本源氏物語前編の改竄—須磨巻から玉鬘巻迄を中心に— 富山大学 田村俊介 〔研究発表③〕 『源氏物語』一条御息所の手紙表現 —「夕霧」巻における「おしひねりて出だしたまひて」を端緒として— 國學院大學〔兼〕 小菅あすか ……休憩(11:30-13:00)・委員会(11:40-12:10)……
13:00-15:20	研究発表会(午後) 〔研究発表④〕 夕霧の「涙の玉」—『源氏物語』「御法」巻「いにしへの」の歌との関わり— 國學院大學〔兼〕 高倉明樹子 〔研究発表⑤〕 幻巻の光源氏詠「なくなかもかへりにしかな」をめぐって 早稲田大学〔院〕 草野勝 ……休憩(14:20-14:40)…… 〔研究発表⑥〕 『とりかへばや』にみるセクシュアリティ 学習院大学〔院前期修了〕 野澤志帆
15:20-16:20	総会
16:20-16:30	閉会の辞 中古文学会代表委員 竹内正彦
	※閉会后、新委員による委員会が開催されます。

※中古文学会春季大会開催に合わせ、國學院大學博物館において國學院大學所蔵の貴重書展示
('平安朝和歌への誘い')を開催する予定です(5月20日より開期未定)。

趣意説明

千葉大学 鈴木宏子

〔基調報告①〕 三代集から後拾遺集へ—贈答歌詞書中の人名に着目して—

相模女子大学 武田早苗

〔基調報告②〕 曾禰好忠歌の表現

四国大学 田中智子

〔基調報告③〕 後撰集時代の和歌表現—ミ語法への注目—

日本大学 西山秀人

〈司会〉千葉大学 鈴木宏子

〔趣意〕

古典文学の中でも特に中古文学と和歌は、切っても切れない関係にあるだろう。中古は『古今和歌集』を嚆矢とする勅撰集や、個性に富んだ私撰集・私家集が編まれた時代である。王朝貴族の日常生活の中で、和歌は必需品であった。十世紀後半は、日本文学史上空前の歌物語の隆盛期である。『蜻蛉日記』上巻が、いかなるかたちであるにせよ道綱母の歌稿を資料にして綴られたことは、まちがいないであろう。『源氏物語』には七九五首の作中歌があり、散文部分も引歌や歌ことばによって豊かに織りなされている。和泉式部は言うまでもなく、みづから和歌は不得手だという清少納言も、歌人の娘であり家集を持つ人であった。中古文学は和歌なしには成り立たないし、中古文学を読むときに和歌を避けて通ることはできない。中古文学研究においては、韻文と散文のジャンルの垣根を、なるべく低くしておくことが大切であろう。中古文学研究者たるもの「いづれか歌をよまざりける」なのである。

近年の研究状況をふり返ると、中古和歌の研究を進展させるための好条件が整っていることに、あらためて気づく。たとえば、データベース類の整備が進んでいること。従来なら長い時間を要した調査を瞬時に行なうことができるし、新しいツールを活用することで異なる視界も開けてくるであろう。そして、数々の注釈書が刊行されていること。私家集や歌合の注釈が積み重ねられているのはもちろんのこと、和歌文学大系の三代集が揃い、待望久しい『古今和歌六帖』も刊行された。新版の岩波文庫の『拾遺和歌集』『後拾遺和歌集』『詞花和歌集』を手にとることもできる。新しい注釈書は、それぞれの作品の新しい貌を示してくれるはずである。中古の和歌を、清新な目で見つめ直してみる好機が訪れているのである。

本シンポジウムはこのような状況を踏まえて、三代集から『後拾遺和歌集』の時代の和歌に軸足を置いて研究を続けている三人の方に、ご自身の研究を具体例に即して語っていただき、中古和歌文学研究の現在の成果と面白さを、広く学会の方々と共有することをめざすものである。

(文責 鈴木宏子)

〔基調報告①〕

三代集から後拾遺集へ—贈答歌詞書中の人名に着目して—

相模女子大学 武田早苗

「平成」において、注釈書が複数上梓され、勅撰集研究は今後さらなる深化を遂げるであろう。その導火線になればと願い、今回は、詞書中の人名に着目した。古今集詞書中の人名記載は、他集に比べて数的には少ない。しかしながら、歌合の主催者、受賀者、さらには「○○の御歌」などとして人名が載る。左注にも多く作者異伝が見える。資料的な限界は否めないが、古今集詞書中の人名記載には何らかの意図が読み取れそうだ。そこで、後拾遺集までの、特に贈答歌の詞書に焦点をあて、人名の用い方と、それが意味するものについて考えてみたい。

〔基調報告②〕

曾禰好忠歌の表現

四国大学 田中智子

曾禰好忠の特異な和歌表現をめぐっては、これまで、屏風歌や万葉歌からの影響、河原院文化圏における競作関係といった、様々な角度から研究が積み重ねられてきた。本報告では、とくに万葉歌摂取に焦点を当て、好忠の和歌表現の特質に再考を加えたい。また、万葉歌摂取をめぐっては、既に、「時代の高さ」を示すとの指摘や、下層庶民の歌を偽作して虚構の世界を作り出すための方法であったとの指摘がなされている。そうした先行研究をふまえつつ、好忠が積極的に万葉歌の表現を取り入れたことの意義をも考えてみたい。

〔基調報告③〕

後撰集時代の和歌表現—ミ語法への注目—

日本大学 西山秀人

「山高み」「夜を寒み」などのミ語法は、上代において隆盛を極めたものの中古以降は衰退形骸化したとされる。しかし、貫之、躬恒らはミ語法を擬古的表現として意識的に用いていたふしがあり、後撰集時代においては順・元輔・能宣・好忠らが多数のミ語法詠を残している。また、『後撰集』にはミ語法を模した遊戯的な表現が散見されることから、当時、ミ語法は和歌特有の語法として注目を集めていたようである。この傾向は『古今六帖』に一五〇首ほどのミ語法詠が見出されることと無関係ではなかろう。基調報告ではその点を中心に考察したい。

〔研究発表①〕

『うつほ物語』における「ことなし」「こともなし」

湘北短期大学〔非〕 泉屋咲月

「ことなし」「こともなし」とは、「特別なことがない」という意味のほか、「つまらない」といった意味から、「非の打ち所がない」「この上ない」という意味まで、幅広い意味で用いられる語である。

平安朝文学における用例を確認すると、「特別なことがない」という意味で用いられることが多く、賛美表現としての用法はあまり見られない。中には、「無難で申し分がない」などの訳が付されていて、どのような意味で用いられているのか明らかにされていないものもあり、再考の余地が多くある。

『源氏物語』においては、賛美表現としての用法は少なく、賛美表現として用いられる際にも、最上級のものというよりは、なにか欠点を抱えたもの、あるいは、より優れたものがほかに存在するものを対象としており、理想的な性質を描くものとしては機能していない。

そうした中で、『うつほ物語』においては、「ことなし」「こともなし」は、賛美表現として用いられる例が圧倒的に多い。それだけでなく、主人公である仲忠のほか、俊蔭の娘やあて宮、女一の宮といった、作中で理想的とされる人物を賛美する場合にも用いられている。

本発表では、『うつほ物語』において用いられる「ことなし」「こともなし」を、『うつほ物語』独自の賛美表現として位置づけた上で、この表現によって描かれるものについて考えたい。

〔研究発表②〕

陽明本源氏物語前編の改竄—須磨巻から玉鬘巻迄を中心に—

富山大学 田村俊介

吉岡曠氏『源氏物語の本文批判』(1994)は、所謂河内本が「義理」を通すことを旨とする解釈本文ないしは校訂本文であるという従来の通説を再確認した。だが、近視眼的に「義理」を通すことを旨とする改竄本という性格は、別本の最善本とされる陽明本も同じではないか。『富山大学人文科学研究』第七八号(2023 二月発行予定)所収の拙稿では、螢、夕霧、御法の改竄を指摘した。本発表では、須磨 46 丁裏冒頭(丁数等は思文閣出版『源氏物語』全一六巻の影印篇に拠る)に改竄があることを指摘する。朝顔巻については、今井上氏の本学会誌第七三号所収論文(2004)も参照し、「心変はる」が改竄本文であることを言う。少女 20 丁ウ 8 行目の「風の心さすらひきて」は出典が持っていた対句性が損なわれる。改竄がこれだけ多いのだから、陽明本源氏前編の古写の巻々を一括して「改竄本」と称してよからう。

岩波新新大系(仮名)、小学館新新全集(仮名)が作成されるとすれば、やはり、大島本か大島本に似た本文の伝本を底本にすべきである。作成されないとすれば、現在広く流布している新大系、小学館新全集、小学館全集を作品論の引用テキストにすべきである。これらは、おおむね大島本を底本にしているからである。今井氏も言っている通り、「流布本への必要以上の軽視」には、「それはそれで問題があるように」思う(「総括」(2022)。本学会誌第一一〇号)。

[研究発表③]

『源氏物語』一条御息所の手紙表現

—「夕霧」巻における「おしひねりて出だしたまひて」を端緒として—

國學院大學〔兼〕 小菅あすか

三条殿で過ごす夕霧のもとに、小野からの返書が届く。この手紙は「例にもあらぬ鳥の跡のやう」なる文字で記されていたため、夕霧はすぐには判読できず、灯火を引き寄せ熟視していた。その姿を見咎めた雲居雁は手紙を奪い取り、遂には隠してしまうのであった。

件の手紙は一条御息所によって代筆されたもので、文中にある「女郎花しをるる野辺をいづこととてひと夜ばかりの宿をかりけむ」という和歌には、落葉の宮に対する夕霧の「気色をだに見む」とする意図が込められていた。その特異な筆跡だけでなく、「ただ書きさし」たような書き方もまた、病に臥せる一条御息所の姿を象るものと解されている。

ここで注目したいのは、この手紙が「おしひねりて」封じられている点である。従来、「おしひねり」という封の仕方は、江戸時代中期成立の伊勢貞丈著『貞丈雑記』をもとに、捻文として理解されてきた。だが、捻文の「捻」は折り畳む、または折り返す動作を指しているのもであって、それは対象を掴んで一八〇度回転させるという、現行の「捻る」とは異なる。また、捻文は包紙の上下を紙縊で結ぶとされるが、このとき一条御息所が病床にあったことを考慮するならば、ここに複雑な折り方を想定することには疑問が生じるだろう。

本発表では、「おしひねり」という手紙の封じ方、そして文中の和歌に詠まれる思いが、どのよに連関し、夕霧と落葉の宮との物語に作用しているのかを明らかにしたい。

[研究発表④]

夕霧の「涙の玉」—『源氏物語』「御法」巻「いにしへの」の歌との関わり—

國學院大學〔兼〕 高倉明樹子

『源氏物語』「御法」巻、紫の上の死顔を見た夕霧は、かつて野分の折に垣間見た生前の彼女の姿を想起する。夕霧の「いにしへの秋の夕の恋しきにいまはと見えしあけぐれの夢」の歌は、地の文の「ぞなごりさへうかりける」に連結する。夕霧は、紫の上の美しい姿を垣間見て以来「恋しき」思いを秘めていたものの、再び見ることが叶ったのが死顔であったことに「うかりける」という感慨を抱く。その際の夕霧の様子は、義母に寄せた恋慕を周囲に気取られないように、爪繰る数珠に紛らわして「涙の玉をばもて消ちたまひける」と語られる。

「涙の玉」は、本来数えることができない涙を玉に見立てることで、悲しみの度合いを可視化する表現であり、「涙の玉」を「もて消つ」ことは特異な表現である。「涙の玉をばもて消ち」とは、何を意味するのだろうか。諸注釈書は、「涙の玉」は数珠にかけた言葉であること、人目を憚った夕霧が数珠を繰る動作に紛らわして涙を隠す、悲しみを消すことだと解釈している。だが、数珠の縁としては「涙」でも十分である。また、紫の上の死に誰もが落涙するなか、夕霧の涙を流す様が恋慕の証として周囲に悟られてしまうとは言えない。「涙の玉」の表現性を検討する必要がある。

本発表では、「涙の玉をばもて消ち」という表現が意味するものを明らかにし、そこから窺えることが、直後の「いにしへの」に象られた夕霧の内奥とどのように連関するのかを論じていく。

[研究発表⑤]

幻巻の光源氏詠「なくなくもかへりにしかな」をめぐって

早稲田大学〔院〕 草野勝

幻巻において光源氏が明石の君に贈った「なくなくも」歌は、古注釈において注記も少なく説の対立も見られないことから、近世以降においても通説の踏襲という形で埋もれたままであった。難解な歌に議論が集中するのは注釈を有する古典の宿命でもあろう。ところが、当該歌は、一九六〇年代を境として少なからぬ読みの変容がある。また「つひのどこよ」という他例を見ない言い回しについては、注目されることもなく今日に至っている。本発表では、当該歌の注釈史の展開を整理しつつ、この歌が光源氏のいかなる思考を具現しているのかを考察する。

第一に、当該歌は一九六〇年代までは光源氏の出家志向・仏教意識の問題としてのみ読み解かれてきた。それに対して以後の諸論では、紫の上への愛執の問題がせり上がってくる事情がある。そうした読解の変容を浮かび上がらせつつ、ふさわしい解釈を探っていきたい。

第二に、特に下の句「いづこもつひのどこよならぬに」について、当該句の異質性を指摘しつつ、解釈の可能性を検討する。「つひのどこよ」という表現は、他の用例が見られないのみならず、表現上、また「どこよ（常世）」という空間の理念上において様々な矛盾を抱えた表現であると思われる。そうした表現が選択された事情が、当時の社会でかなり著名であった入道寂照の詠歌の存在に起因していることを論じ、その上でさらなる解釈の深化を目指したい。

[研究発表⑥]

『とりかへばや』にみるセクシュアリティ

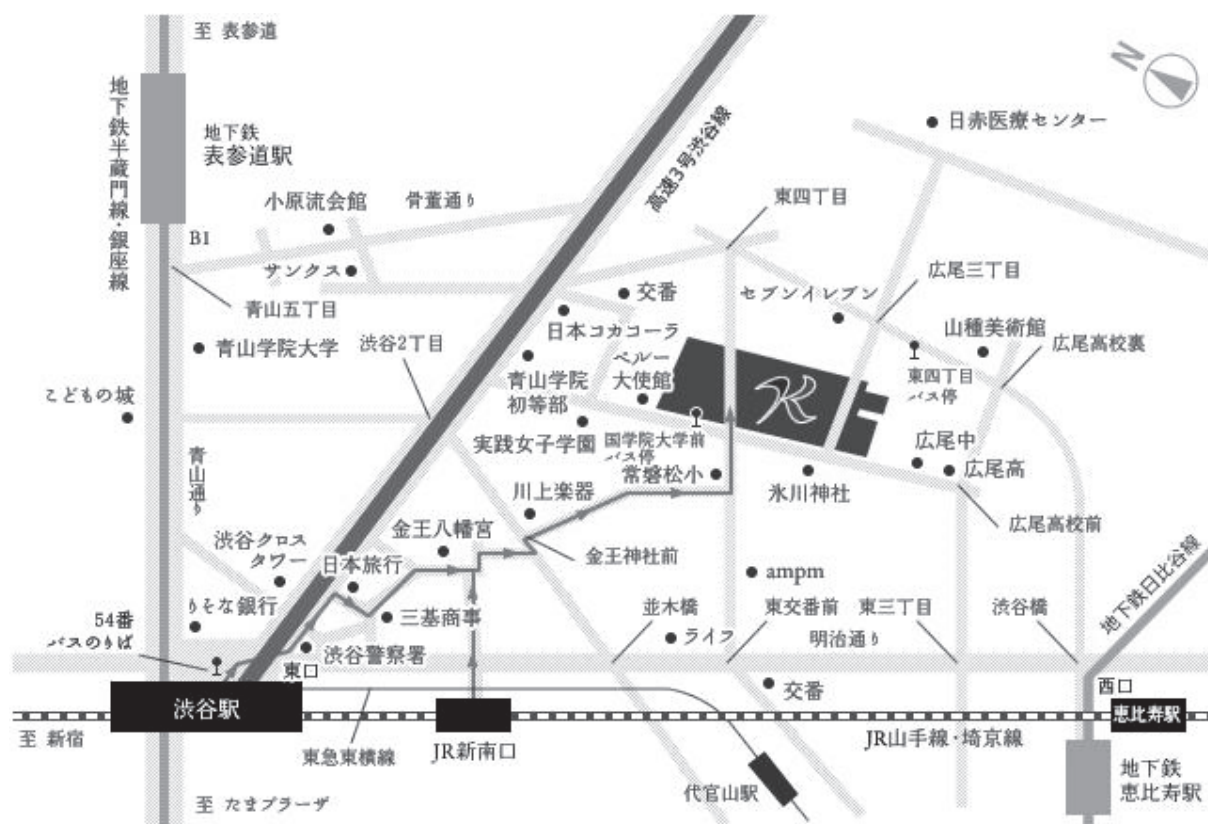
学習院大学〔院前期修了〕 野澤志帆

『とりかへばや』については、性の越境という特殊なテーマ性ゆえに、登場人物のジェンダーやセクシュアリティ等の様々な観点から議論がなされてきた。セクシュアリティに関する価値観や認識は時代とともに変動し、『とりかへばや』研究にあってもその見直しと反省とが常時行われてきたのである。

ところが、先行研究では基本的に登場人物の身体の性にこそ回帰すべき「本性」があるという考えが前提とされており、性別二元論と異性愛主義に基づいた考察が主流となっている。そうした考察において『とりかへばや』は「女の物語」の系譜に連ねられ、主人公である中納言は男装生活によって身につけた「心強さ」によって、従来の物語世界の女性たちとは異なる成長を遂げた、と解釈される。しかし中納言の人生を「女の物語」として読むことは、『とりかへばや』の独自性である性の越境を、「本性」である女性として正しい道へ進むまでの、人生における単なる一経験であると矮小化させてしまっているのではないか。

いわば『とりかへばや』の先行研究そのものが、その社会における性をめぐる価値観によって決定化されてしまったものと思われる。本発表では主人公中納言におけるセクシュアリティの問題を再検討することで、これまでの前時代的価値観に基づいた解釈の見直しを試みたい。今後の『とりかへばや』研究も時代の価値観とともにアップデートされて然るべきものと思われるのである。

國學院大學渋谷キャンパス アクセスマップ



渋谷駅からのアクセス

渋谷駅（JR各線・地下鉄各線・東急各線・京王井の頭線）から徒歩約13分

渋谷駅（JR各線）新南口から徒歩約10分

都営バス（渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター行）「国学院大学前」下車
 （運賃180円・IC178円）【渋谷駅から3番目の停留所、所要時間約10分】

表参道駅からのアクセス

表参道駅（地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線）B1出口から徒歩約15分

恵比寿駅からのアクセス

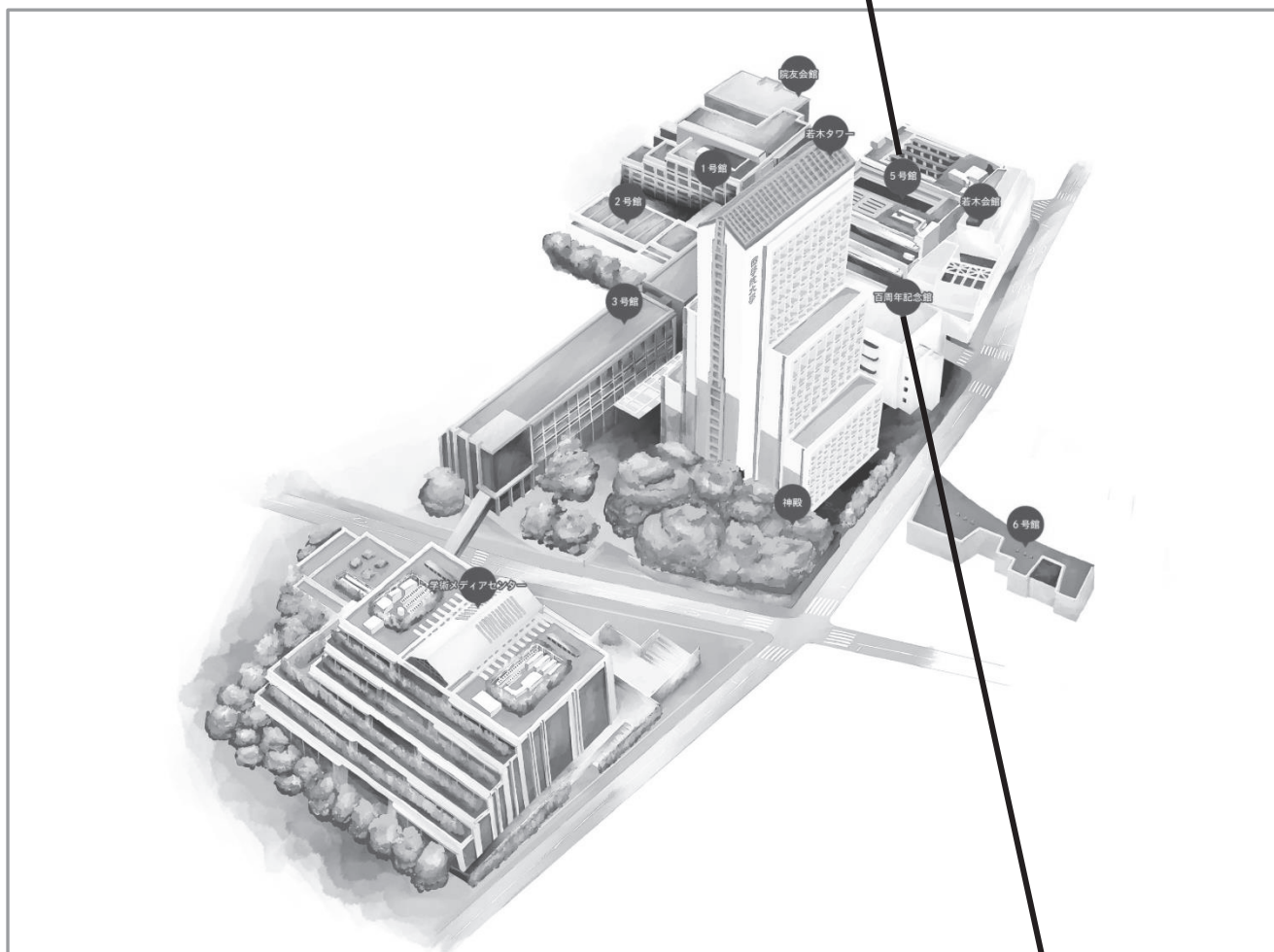
恵比寿駅（JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン、地下鉄日比谷線）から徒歩約15分

都営バス（恵比寿駅西口ロータリー1番のりば 学06日赤医療センター行）「東四丁目」下車
 （運賃180円・IC178円）【恵比寿駅から3番目の停留所、所要時間約10分】

國學院大學渋谷キャンパス案内

休憩室・書籍展示・委員会会場

5号館 2F～3F



シンポジウム・研究発表・総会会場

百周年記念館 4F 百周年記念講堂